

2016-4-15

MCPC モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

MCPCモバイルシステム技術検定の受検者数が6万人を突破

MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 会長 安田靖彦)は、モバイルコンピューティングの技術者育成とその普及を目的として、2005年からモバイルシステム技術検定を実施して参りました。この度、2016年3月に通算の受検者数が6万人を突破しました。ワイヤレス通信機能の充実と高速化が相まってモバイルシステムの利活用がますます拡大しており、システム構築技術者の育成は今後とも必要不可欠なものとなっています。

MCPCでは、本格的なIoT時代を迎えモバイルシステム技術検定に、IoTシステムの基本的な技術知識を体系化し、盛り込みました。これにより、新時代のニーズに対応した、モバイルシステム技術者の拡大へと繋げてまいります。

1. ICT業界を中心に受検累計6万人突破!

2005年から実施したモバイルシステム技術検定は、2009年に2万人、2013年に5万人、そして2016年に6万人と累計受験者数を伸してきた。(数値は年度末)

受検者6万人はICT業界を中心に受検、業種別分類では、ドコモ、KDDI、ソフトバンクなどの移動体通信事業者が全体の43.9%、第2グループは電機通信機器メーカーで10.9%、第3グループがシステムインテグレータで8.4%、第4グループが中小企業、個人、学生などで36.8%となっています。

最近の受験者の傾向として小規模企業、ベンチャー、学生を含む個人や、システムインテグレータが増加し、受験者の裾野が広がってきています。またイオンモバイル、ヤマダ電機などのMVNO(仮想移動体通信事業者)から受検も増加しています。

2. モバイルシステム技術検定の特徴

2-1. 4階層の検定レベル

モバイルシステム技術検定は、IT/ネットワーク(ICT)エンジニア、IT営業、セールスエンジニア、コンサルタント、企業内技術者のために設けられた制度で、その知識レベルにより、最上位資格のSMC(シニアモバイルシステムコンサルタント)、1級、2級、そしてモバイル技術基礎/スマートフォン・モバイル実務検定の4段階で構成されております。試験は年2回実施されます。

2-2. 資格別認定内容

- ・2級検定では、モバイルシステムを構成する移動体通信、モバイル端末、ミドルウェア、システムソフトウェア、アプリケーションなどに関する基本知識の全般を問います。

- ・ 1級検定は2級合格者のみ受検できる資格で、2級の知識に加えて、高度なネットワークサービス、セキュリティ、各業種への具体的対応、システム構築技法、運用などエキスパートとしての知識を問います。①ネットワーク、②端末・アプリケーション、③モバイルシステムの3科目の合格を要する高レベルな資格です。
- ・ SMC認定研修は1級合格者のみ受験できる資格で、モバイルシステム構築やシステム運用などの経験をベースにプロジェクトマネジメント、コンサルティング技術を実習形式で研修するもので業界最高峰の資格で、すでに500人以上が認定されました。
SMC有資格者は経済産業省が取得推奨するITC協会認定の「ITコンサルタント」試験の専門分野試験が免除される特典が付与されている。
- ・ また、モバイルシステム技術検定とは別に、総務省が後援する携帯電話販売員のための資格としてスマートフォン・モバイル実務検定も実施しています。
この資格は携帯ショップはじめ量販店、コールセンタなどのスタッフが主な対象で基礎技術に加えて業界知識、法知識を問う資格です。実務に結びつく資格として企業教育の一環にも活用されています。

2-3. 公式テキストの発行

基礎、2級、1級のそれぞれの検定試験に対応した公式テキストとして

「モバイル技術基礎」、「モバイルシステム技術（（2級対応）、およびエキスパート編）」テキストを、MCPC監修の下、刊行しています。

テキストは最新技術をいち早く取り入れるべく、それぞれ2年毎に改定を行い2級、1級対応テキストは既に第6版まで刊行しています。

3. 人材育成へ貢献

移動体通信事業者やコンピュータメーカ及びソフトウェアベンダが、この検定制度を活用してIT関連技術者の育成に取り組まれています。MCPC会員企業の30社以上は既にモバイルシステム技術検定を「取得推奨資格」として認定されています。

3-1. 企業における活用事例

- ・ 複数の大手通信事業者やシステムインテグレータにおいて、すべての社員に2級検定試験の受検を指示しています。
- ・ 多くの通信事業者、モバイル関連ベンダーにおいて、社員の最新技術レベルの修得を促進するため、受検料の全額負担、合格時の報奨金支給、人事記録への記載等を実施。

3-2. 大学への教育支援の取り組み

大学や専門学校で、学生の技術教育の一環として、モバイル技術検定を活用する動きもあります。こうした教育機関のニーズに応えるためMCPCでは教材としてテキストの提供、指導

講師の派遣など積極的に提携支援を進めています。現在支援している大学は次の通りです。

- ・国立大学法人 群馬大学の社会情報学部【2015年～
- ・東京電機大学工学部【2010年～
- ・玉川大学工学部ソフトウェアサイエンス学科【2009年～

今後も、MCPCでは、モバイルシステム技術者拡大、スキル向上にむけた戦略的な取り組みとして、大学・専門学校でのMCPCの技術検定教育の活用を働きかけて参ります。

4. IEEEとの連携でグローバル資格WCETを運用

2011年に米国電気・電子学会（IEEE）のコミュニケーションソサエティ（ComSoc）と提携して、世界に通じる高度通信技術者の育成を目的に、WCET（Wireless Communication Engineering Technologies）資格受験の推進を委託されました。

WCET資格は、ワイヤレスの高度な理論と実践に関する英語による試験で、既に国内で100名以上が受験され2016年3月現在48名が合格しています。

5. MCPCについて

MCPC（モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 会長：安田靖彦）は、業界を超えたモバイルコンピューティングの普及促進団体として1997年に発足いたしました。

モバイル、IoT関連技術の仕様書、ガイドラインとして、「端末インターフェース」及び

「Bluetooth」など多数の標準化作業をはじめ、「セキュリティ対策ガイド」、「モバイル充電に関するガイドライン」、IoT活用の「MCPCアワード事例集」等の発行、「モバイルシステム技術検定」実施などを通して、モバイル利活用のビジネス拡大に貢献しております。

MCPC加盟企業 153社（2016年4月現在）

[本件に対する問合せ先]

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム（MCPC）事務局

所在地：〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリーンビル2F

TEL：03-5401-1935 FAX：03-5401-1937

E-mail：office@mcpc-jp.org

<http://www.mcpc-jp.org/>